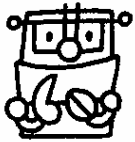


真空の中では、物は燃えるの



真空では、酸素もないから、物は燃えないのさ。

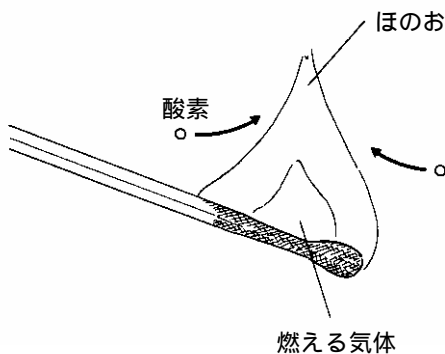
ふつう、目に見えないため気がつきませんが、身のまわりのどんなすき間にも、空気があります。空のびんの中にも、空気は入っています。

木や紙に火をつけると、ほのおを上げて燃えるのは、空気中の酸素が、熱で分解されて出てきた木の成分の気体と、^{きゅうげき}急激に結びつくからです。このとき、熱や光を出すため、ほのおが明るくかがやいて見えるのです。

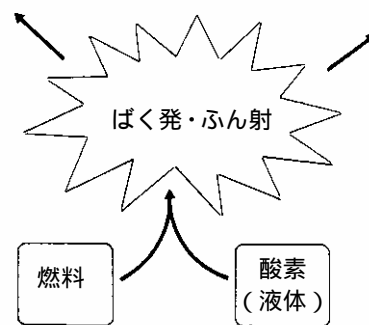
中が真空のびんの中には、何も入っていません。もちろん、空気も酸素もありません。ふたをしたびんの中で、ろうそくを燃やすと、中の酸素が使われて不足すれば、火は消えてしまいます。同じように、酸素のない真空では、火のついた物を入れても、燃えることはできないのです。

真空の宇宙^{うちゅう}では、ロケットは液体酸素を使って燃料を燃やす

地球から遠くはなれた宇宙は、ほとんど真空です。その宇宙を飛ぶロケットは、燃料といっしょに、液体にした酸素をもっていきます。そして、この酸素を使って燃料を燃やして、前に進みます。



< 空気中で燃えるしくみ >



< 宇宙で燃えるしくみ >